

2012年活動方針

不戦兵士・市民の会

戦場体験世代の会員の高齢化、死亡等の進む中、当会は戦争体験を経験していない世代の会員増によって、会員数を減退させることなく、会創設以来の理念を引き継ぎ、頑強に戦い続けています。そうした中、二冊の戦場体験記が発刊されました。

「不戦兵士・市民の会」の23人の元兵士による『人を殺して死ねよとは』（本の泉社）と、東海支部の近藤一さんの証言をもとにした『最前線兵士が見た「中国戦線・沖縄戦の実相」』（学習の友社）で、大きな反響をよんでいます。

ここに、あらためて「不戦兵士の会」創立趣旨を提示します。

「……私どもはただ一つ悲惨な戦争を体験し、からくも生きながらえ、極限に追いつめられた人間がどのような行動をしたか、生き地獄絵図を見てきた数少ない生き証人として共通の地盤にたっていると思います。それゆえに、私どもの出来ることといえば、かつての戦争はいかにして起こったのか、戦争というものが、いかに非人間的なものであったか、そして国家の指導者たちのエゴから終戦の決断が遅れて、その結果、いかに多くの国民が犠牲に供されたか等々について、歴史の生き証人として後生に伝える事ではないでしょうか。……」

戦争への道を進ませてはならない。戦争にだけは向かってならない。「生き地獄絵図」の体験を生き抜いた「不戦兵士」の叫びであり、「不戦兵士・市民の会」の存続理由をかけての叫びであります。

2012年は、チュニジア・エジプト・リビアなどに見られる独裁政権の崩壊、「アラブの春」によって始まりました。ヨーロッパ先進諸国での信用不安、財政危機の深まりに対し、世界中で格差反対の抗議運動が巻き起こりました。

昨年の総会は、東日本の大震災の直後に開かれました。今までの社会運動未体験の人々、若年層の関心の広まりと運動への参加による地震災害への救援活動と、「原発神話」の崩壊、脱原発運動の高まりがみられました。とはいえ、民主・自民二大政党への失望が、「みんなの党」や「大阪維新の会」を活気づけているように、反戦平和や、社会体制告発の運動の高揚とは結びついているとはいえません。そればかりか橋下大阪市長と「大阪維新の会」によるファッショ的な独裁政治の策動が続いています。

新しい政治をめざす国民の力によって生まれた民主党政権は、しかしアメリカ追従の日米軍事同盟路線を強化し、普天間基地の県内移設を強行しようとする企み、また、消費税の増税など、国民の期待と希望を全く踏みにじています。まさに崩壊寸前、解散総選挙の日程すら噂されています。

尖閣諸島問題を契機として、排外主義的な「中国脅威論」を煽り立て、軍事力には軍事力で対抗するという「即応性、機動性、柔軟性、持続性」を重視した「動的防衛力」構想の新「防衛計画の大綱」をすすめ、日米軍事態勢の下で、軍備拡大と海外派兵の道を強行・推進しようとしています。

しかも、アフガン、イラク戦争の財政負担に耐えかねた米国が、2012年の年頭に世界軍事戦略を変えるにともない、当然のように「同盟」として深化の深まる日米安保条約の名のもと、日本はアジア・太平洋地域で大きな軍事的役割を演ずるよう求められています。民主党政権は今まさに事実上、憲法の立場を放棄し、憲法改悪に突き進もうとしているのです。

日本と東北アジアの和解・平和・友好をめざして、日米軍事同盟の深化でなく、対米従属の日米安保条約の破棄、普天間基地の即時撤去を国民的運動として広めましょう。

会の社会的な責務を果たすべく、今日の情勢と、状況に対応した運動方法と運動形態をなんとしても生み出し、運動を発展させなければなりません。多数を占める戦争非体験世代に重点を移しつつ、次の運動に力を注ぎましょう。

不戦・平和のために「戦争・戦場体験の継承」をさらに推進・発展する活動
戦争・武力行使の放棄を規定した「憲法第九条」の重要性を啓発する活動
国民主権、戦争放棄と並ぶ「教育、思想信条の自由」を守るために、近年の教育右傾化に警鐘を鳴らす活動。平和教育・歴史教育を充実させる活動
日本にとって不平等条約である「日米安全保障条約」の破棄と平和条約締結をめざす活動
沖縄に象徴される米軍基地問題の解消をめざす活動
原子力に依存せず、原発からの撤退を要求するとともに、自然エネルギーの本格的な導入を求める活動。
これらの活動を進める基礎となる会の運営力の増強。関係団体との連携強化の活動。
会の社会的責任を果たすにふさわしい会員の拡大強化、支部の建設

「生き地獄」の戦場体験ゆえに、「戦争だけは二度と許さない！」という会の存在理由にかけて、「このままでは死んでも死にきれない」という思いの戦場体験老世代を先頭にして、「守ろう！憲法9条 語り継ごう！ 戦場体験」のたたかいを一層前進させようではありませんか。

2012年4月7日 不戦兵士・市民の会 総会にて